

「お寺よりも先にお墓を建てない」 各宗教の教えに即したお墓づくりを

山下石工所（岡山県浅口市）

「宗教が違ってても、お墓は必要なものだと思う。近年はデザイン墓の相談もありますが、お客様には『百年、二百年後、孫やひ孫の代のことまで考えてほしい』と話します。だから、せめて宗教に合わせたお墓づくりを勧める。お寺よりも先にお墓を建てることはありません」

浅口市鴨方町で明治初年から石材の加工販売を手掛ける山下石工所四代目・山下周吾社長はそう話す。取材時に何度も「ウチは特別なことは何もしていないよ」といわれたが、何気なく話した「お寺よりも先に（勝手に）お墓を建

てることはない」という言葉に納得させられた。お寺との関係を考える上において、最も大切なことの一つであると感ずる。

その創業の古さからも、地域に根づいた石材店であることは間違いなく、お墓づくりを大切にしてきた姿勢が容易に想像できる。浅口市やその近隣の寺院については、「宗旨や宗派、また建墓への指導もある程度は把握している」と山下社長はいう。聞けば、仏教にしても、天台宗、真言宗、浄土宗、浄土真宗などがあり、その他、神道やキリスト教、金光教（こんこうきょう本部〓浅口市、



天台宗・真岳山明王院の墓地。同社が加工した五輪塔（手前）が多く建立されている

神道十三派の一つ）もある。「初めての場合は、図面等の段階で確認します。知らなければ、実際に墓地を見るなど、足で稼がないといけない」と山下社長。その知識の積み重ねは、お客様はもちろん、各寺院からの信頼につながっているのではないかと感ずる。

「お墓は代々受け継がれるものだから、お客様の代替わりの際には、極力、その家のお墓の